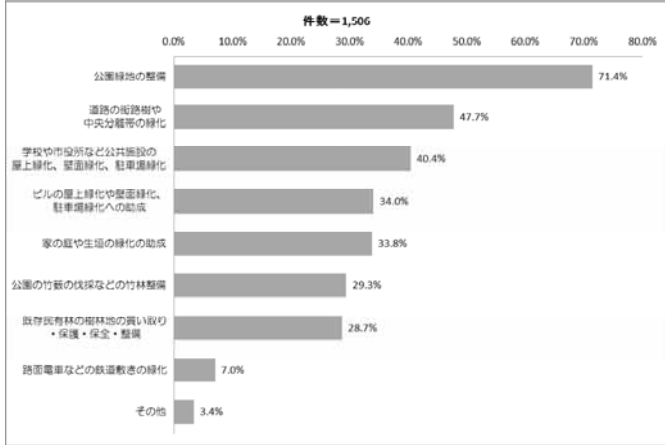


(4) 都市の緑を増やしていくための取組について
「公園緑地の整備」が71.4%

問V-4 今後、さらに都市の緑を増やしていくために、愛知県や市町村にどのような取組を望んでいますか。(複数回答可)

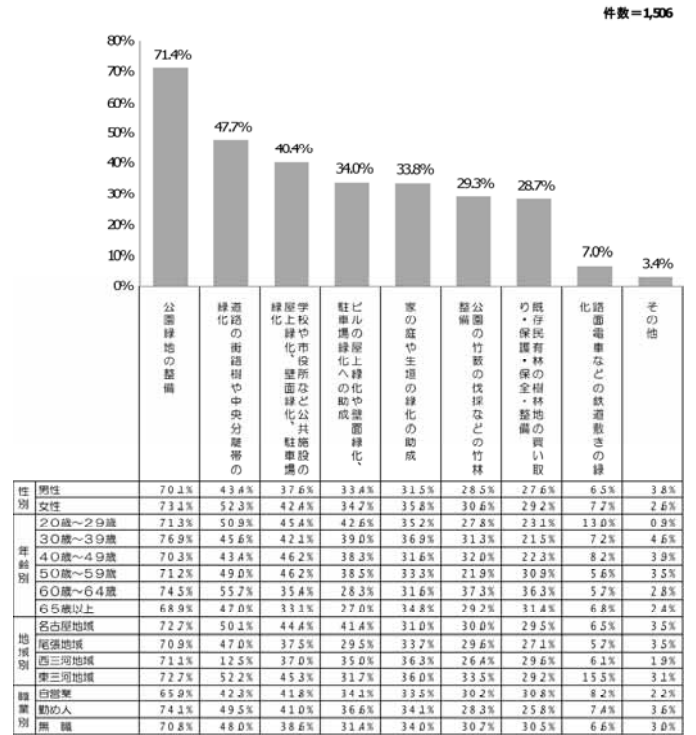


都市の緑を増やしていくために、どのような取組を望むかについて、「公園緑地の整備」と答えた人の割合が71.4%と最も高く、次いで「道路の街路樹や中央分離帯の緑化」が47.7%、「学校や市役所などの公共施設の屋上緑化、壁面緑化、駐車場緑化」が40.4%となっている。

「その他」具体的な方策としては、「現状の緑をどう活かすか考える」、「個人や事業主が緑化推進を自発的にする」、「優先順位を決め実施する」などがある。

都市の緑を増やしていくための取組について (性別、年齢別、地域別、職業別)

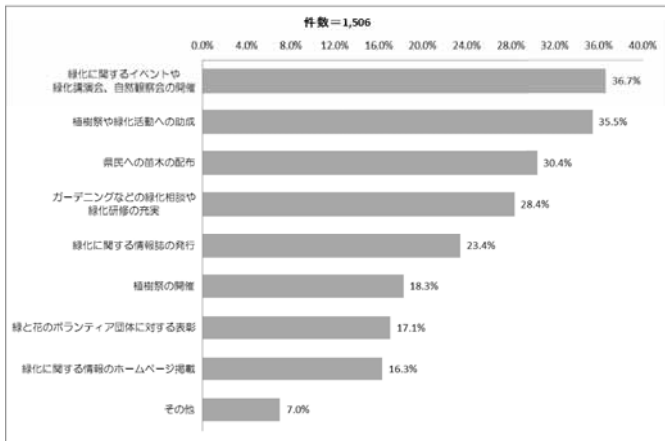
- ◆性別で見ると、回答の割合や順に大きな差は見られない。
- ◆年齢別で見ると、60代、65歳以上では、全体で4番目の「ビルの屋上緑化や壁面緑化、駐車場緑化への助成」と答えた人の割合が7番目になっている。
- ◆地域別で見ると、東三河地域では、全体で5番目の「家の庭や生垣の緑化の助成」と答えた人の割合が1番目に、全体で7番目の「既存民有林の緑地の買い取り・保護・保全・整備」と答えた人の割合が2番目になっている。さらに全体で2番目の「道路の街路樹や中央分離帯の整備」と答えた人の割合が西三河地域では7番目、東三河地域では4番目になっているなど地域により違いがある。
- ◆職業別では、属性による回答の大きな差は見られない。



(5) 都市の緑に関心を持つための取組について

「緑地に関するイベントや緑化講演会、自然観察会の開催」が36.7%

問V-5 あなたが、今よりも都市の緑に関心や関わりをもてるようになるには、愛知県や市町村にどのような取組を望みますか。(複数回答可)

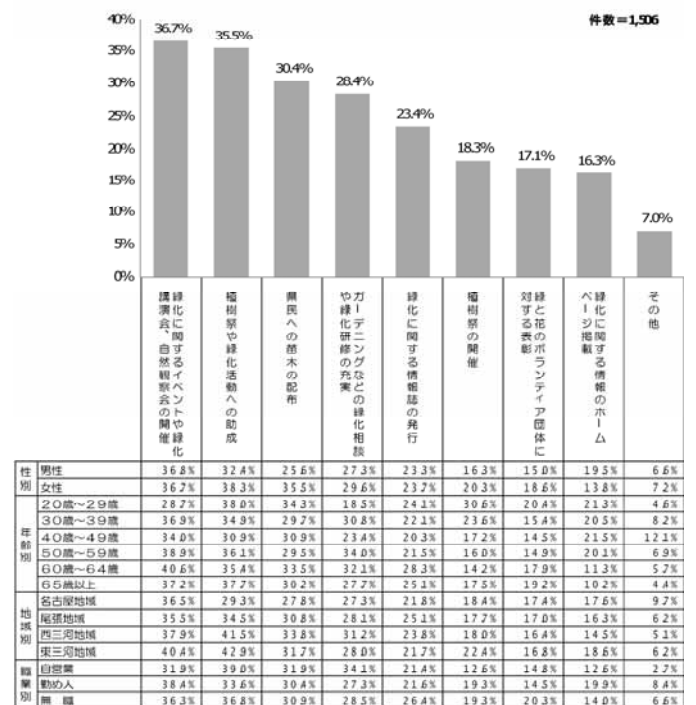


都市の緑に関心や関わりをもてるようになる取組として望むものは、「緑地に関するイベントや緑化講演会自然観察会の開催」が36.7%であり、次いで「植樹祭や緑化活動への助成」が35.5%、「県民への苗木の配布」が30.4%の順に高くなっている。

「その他」具体的な方策としては、「TVなどにより広告、宣伝活動」、「体験会などの実施」、「法人に緑の活動を義務付ける」などがある。

都市の緑に関心を持つための取組について (性別、年齢別、地域別、職業別)

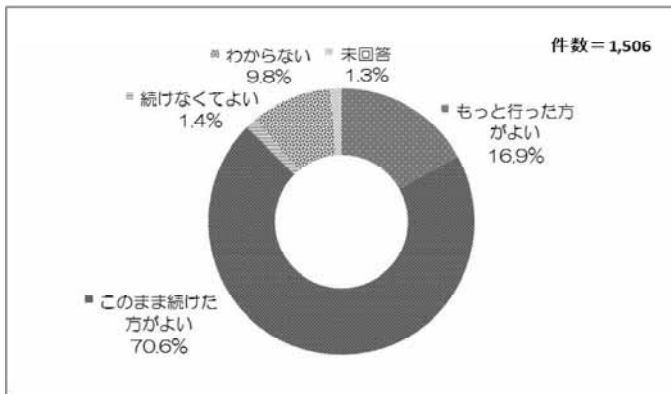
- ◆性別で見ると、全体で2番目の「植樹祭や緑化活動への助成」と答えた人の割合は、女性(38.3%)では1番目に高い。
- ◆年齢別で見ると、全体で4番目の「ガーデニングなどの緑化相談や緑化研修の充実」と答えた人の割合は、20代(18.5%)では8番目に、全体で8番目の「緑化に関する情報のホームページ掲載」と答えた人の割合は、40代(21.5%)では5番目に、50代(20.1%)では6番目に高い。
- ◆地域別で見ると、全体で2番目の「植樹祭や緑化活動への助成」と答えた人の割合は、東三河地域(42.9%)では1番目になっている。
- ◆職業別で見ると、全体で2番目の「植樹祭や緑化活動への助成」と答えた人の割合は、自営業(39.0%)では1番目になっている。



(6) 都市緑化推進事業の継続について

都市の緑を増やす取組を「このまま続けた方がよい」が70.6%

問V-6 あいち森と緑づくり事業で、今後も都市の緑を増やす取組を続けた方がよいと思いますか。
(○は1つ)



あいち森と緑づくり事業で、都市の緑を増やす取組を「もっと行った方がよい」と答えた人の割合は16.9%であり、「このまま続けた方がよい」と答えた人の割合は70.6%である。一方で「続けなくてよい」と答えた人の割合は1.4%であり、「わからない」と答えた人の割合は9.8%である。

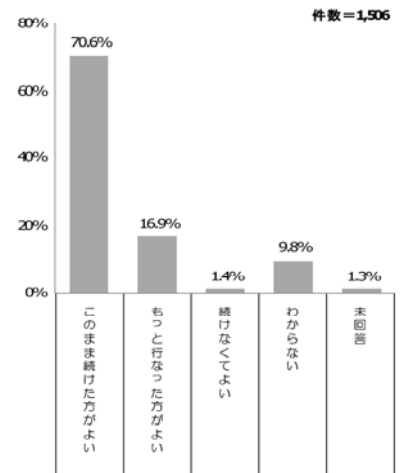
「続けなくてよい」の理由としては、「現状でよい」、「里山林道の整備以外は、税金のムダ使いと思う」、「特に事業というのではなく、自治体の当然の責務」などがある。

(7) その他、都市緑化推進に対する自由意見

「温暖化防止や環境のためには緑化は必要」、「緑をもっと増やしてほしい」、「事業のPRが必要」、「事業を継続してほしい」、「公園の緑地整備をしてほしい」などがある。

都市緑化推進事業の継続について（性別、年齢別、地域別、職業別）

- ◆性別で見ると、「このまま続けた方がよい」と答えた人の割合は、女性（73.2%）が高く、男性（67.8%）が低く、5.4ポイントの差がある。
- ◆年齢別で見ると、「このまま続けた方がよい」と答えた人の割合は、30代（73.3%）が高く、60代（67.9%）が低く、5.4ポイントの差がある。
- ◆地域別で見ると、「このまま続けた方がよい」と答えた人の割合は、東三河地域（77.0%）が高く、尾張地域（67.7%）が低く、9.3ポイントの差がある。
- ◆職業別で見ると、「このまま続けた方がよい」と答えた人の割合は、自営業（72.0%）が高く、勤め人（70.7%）が低い。



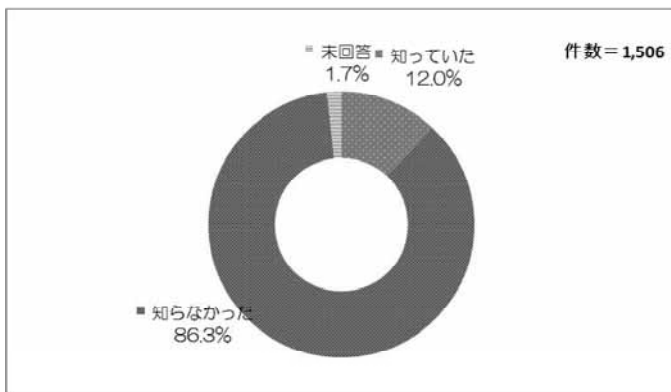
性別	男性	67.8%	18.5%	2.5%	10.3%	1.0%
女性	73.2%	15.5%	0.3%	9.7%	1.3%	
年齢別	20歳～29歳	68.5%	18.5%	0.0%	11.1%	1.9%
	30歳～39歳	73.3%	13.8%	1.0%	11.3%	0.5%
	40歳～49歳	70.3%	14.5%	2.3%	12.5%	0.4%
	50歳～59歳	68.4%	18.4%	2.1%	10.4%	0.7%
	60歳～64歳	67.9%	19.3%	0.5%	11.3%	0.9%
	65歳以上	73.0%	17.3%	1.0%	6.6%	2.2%
地域別	名古屋地域	71.0%	19.1%	2.0%	7.9%	0.0%
	尾張地域	67.7%	18.4%	1.0%	11.3%	1.7%
	西三河地域	72.7%	14.5%	0.6%	10.3%	1.9%
	東三河地域	77.0%	11.2%	1.9%	9.3%	0.6%
職業別	自営業	72.0%	14.8%	2.2%	9.3%	1.6%
	勤め人	70.7%	16.2%	1.3%	10.7%	0.6%
	無職	70.8%	17.5%	1.0%	9.1%	1.7%

VI 環境活動・学習事業について

(1) 環境活動・学習事業についての認知度

「自然環境保全活動」や「環境学習」を、あいち森と緑づくり事業で支援していることを「知らなかった」が86.3%

問VI-1 里地・里山などで間伐、下草刈り、植樹などを行う「自然環境保全活動」や、森林作業の体験教室や自然観察会といった「環境学習」を、あいち森と緑づくり事業で支援していることを知っていましたか。(○は1つ)

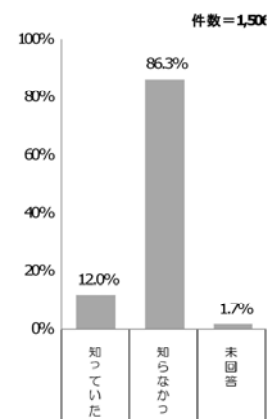


「自然環境保全活動」や「環境学習」を、あいち森と緑づくり事業で支援していることを「知っていた」答えた人の割合は12.0%と低く、「知らなかった」と答えた人の割合は86.3%と高くなっている。

※「環境活動・学習事業」とは、市町村やNPO、ボランティア団体等が行う自発的な森と緑の保全活動や環境学習を公募し、事業実施に必要な経費（資材の購入、外部講師の謝金など）を交付金で支援する事業。

環境活動・学習事業についての認知度（性別、年齢別、地域別、職業別）

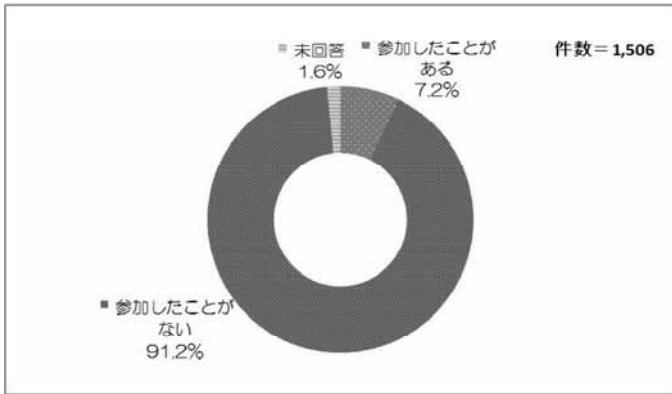
- ◆性別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、女性（12.4%）が高く、男性（10.7%）が低く、1.7ポイントの差がある。
- ◆年齢別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、65歳以上（18.0%）が高く、40代（7.4%）が低く、10.6ポイントの差がある。
- ◆地域別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、西三河地域（12.9%）が高く、東三河地域（9.9%）が低く、3.0ポイントの差がある。
- ◆職業別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、無職（15.3%）が高く、勤め人（8.6%）が低い。



性別	男性	10.7%	88.0%	1.3%
女性	12.4%	86.0%	1.5%	
年齢別	20歳～29歳	8.3%	91.7%	0.0%
	30歳～39歳	7.7%	91.3%	1.0%
	40歳～49歳	7.4%	91.4%	1.2%
	50歳～59歳	9.0%	89.9%	1.0%
	60歳～64歳	13.2%	85.8%	0.9%
	65歳以上	18.0%	79.3%	2.7%
地域別	名古屋地域	11.4%	87.1%	1.5%
	尾張地域	11.6%	87.0%	1.3%
	西三河地域	12.9%	85.2%	1.9%
	東三河地域	9.9%	89.4%	0.6%
職業別	自営業	11.0%	87.9%	1.1%
	勤め人	8.6%	90.4%	1.0%
	無職	15.3%	82.7%	2.0%

(2) 「自然保護活動」や「環境学習」の参加の有無
 「自然環境保全活動」や「環境学習」に「参加したことがない」91.2%

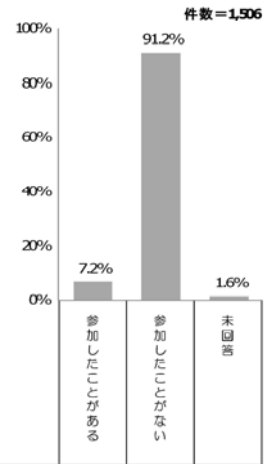
問VI-2 これまでに「自然環境保全活動」や「環境学習」に参加したことがありますか。
 (〇は1つ)



「自然環境保全活動」や「環境学習」に「参加したことがある」と答えた人は7.2%にとどまり、一方で「参加したことがない」と答えた人は91.2%と高くなっている。

「自然保護活動」や「環境学習」の参加の有無(性別、年齢別、地域別、職業別)

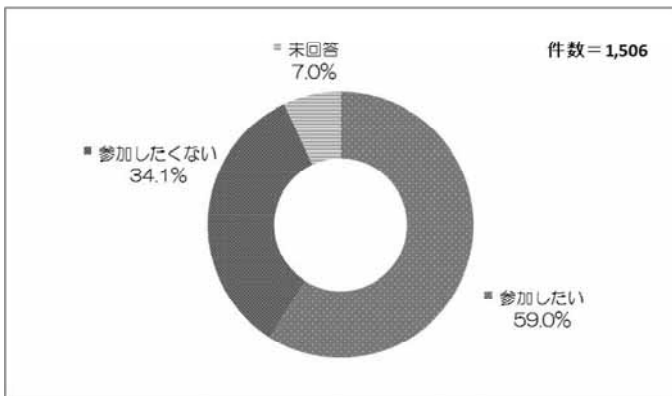
- ◆性別で見ると、「参加したことがある」と答えた人の割合は、男性(7.8%)が高く、女性(6.5%)が低く、1.3ポイントの差がある。
- ◆年齢別で見ると、「参加したことがある」と答えた人の割合は、20代(8.3%)が高く、30代(5.6%)が低く、2.7ポイントの差がある。
- ◆地域別で見ると、「参加したことがある」と答えた人の割合は、東三河地域(8.7%)が高く、名古屋地域(4.5%)が低く、4.2ポイントの差がある。
- ◆職業別で見ると、「参加したことがある」と答えた人の割合は、自営業(8.8%)が高く、勤め人(6.8%)が低い。



性別	参加したことがある	参加したことがない	未回答
男性	7.8%	91.2%	1.0%
女性	6.5%	92.1%	1.4%
年齢別			
20歳~29歳	8.3%	91.7%	0.0%
30歳~39歳	5.6%	93.8%	0.5%
40歳~49歳	7.4%	91.4%	1.2%
50歳~59歳	7.6%	91.3%	1.0%
60歳~64歳	6.6%	92.0%	1.4%
65歳以上	7.3%	90.8%	1.9%
地域別			
名古屋地域	4.5%	94.3%	1.2%
尾張地域	8.2%	90.6%	1.2%
西三河地域	7.7%	90.7%	1.6%
東三河地域	8.7%	90.7%	0.6%
職業別			
自営業	8.8%	90.1%	1.1%
勤め人	6.8%	92.3%	0.9%
無職	6.9%	91.4%	1.7%

(3) 「自然保護活動」や「環境学習」の参加意欲
 「自然保護活動」や「環境学習」に「参加したい」59.0%

問VI-3 あなたの身の回りで「自然環境保全活動」や「環境学習」が実施された場合、参加したいと思いますか。(〇は1つ)

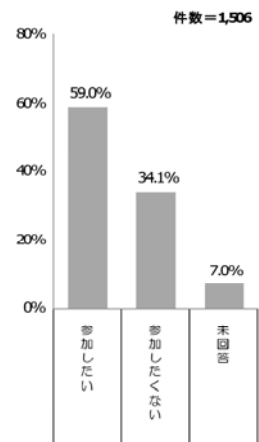


「自然環境保全活動」や「環境学習」に「参加したい」と答えた人の割合は59.0%であり、「参加したくない」と答えた人の割合は34.1%である。

「参加したくない」の理由としては、「忙しい」、「高齢」、「体調不良」、「興味が無い」などがある。

「自然保護活動」や「環境学習」の参加意欲(性別、年齢別、地域別、職業別)

- ◆性別で見ると、「参加したい」と答えた人の割合は、男性(61.7%)が高く、女性(56.5%)が低く、5.2ポイントの差がある。
- ◆年齢別で見ると、「参加したい」と答えた人の割合は、60歳~64歳(63.7%)が高く、40代(55.9%)が低く、7.8ポイントの差がある。
- ◆地域別で見ると、「参加したい」と答えた人の割合は、西三河地域(64.6%)が高く、名古屋地域(55.8%)が低く、8.8ポイントの差がある。
- ◆職業別で見ると、「参加したい」と答えた人の割合は、勤め人(60.7%)が高く、自営業(56.6%)が低い。

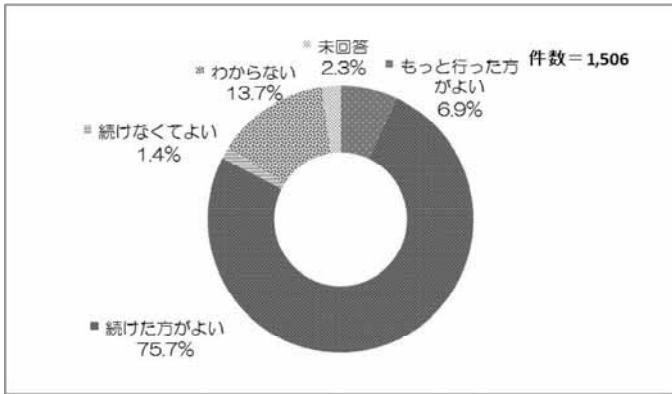


性別	参加したい	参加したくない	未回答
男性	61.7%	33.4%	4.9%
女性	56.5%	35.1%	8.3%
年齢別			
20歳~29歳	61.1%	36.1%	2.8%
30歳~39歳	58.5%	37.4%	4.1%
40歳~49歳	55.9%	39.1%	5.1%
50歳~59歳	60.4%	34.0%	5.6%
60歳~64歳	63.7%	30.2%	6.1%
65歳以上	56.9%	31.9%	11.2%
地域別			
名古屋地域	55.8%	38.7%	5.5%
尾張地域	57.7%	34.3%	7.9%
西三河地域	64.6%	29.9%	5.5%
東三河地域	60.9%	31.7%	7.5%
職業別			
自営業	56.6%	36.8%	6.6%
勤め人	60.7%	34.4%	4.9%
無職	57.9%	33.3%	8.7%

(4) 環境活動・学習事業の継続について

「自然環境保全活動」や「環境学習」の支援を「続けた方がよい」が75.7%

問VI-4 あいち森と緑づくり事業で、今後も「自然環境保全活動」や「環境学習」の支援を続けた方がよいと思いますか。(〇は1つ)



あいち森と緑づくり事業で、「自然環境保全活動」や「環境学習」の支援を「もっと行っただ方がよい」と答えた人の割合は6.9%、「続けた方がよい」と答えた人の割合は75.7%である。一方で「続けなくてよい」と答えた人の割合は1.4%、「わからない」と答えた人の割合は13.7%である。

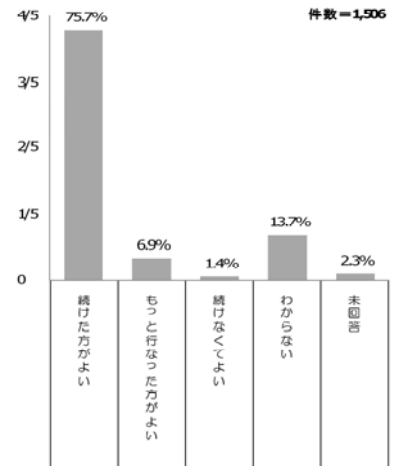
「続けなくてよい」の理由としては、「必要を感じない」、「学習でなく、森作りの参加」、「効果次第」などがある。

(5) その他、自然環境保全活動、環境学習に対する自由意見

「学校教育の中に積極的に取り入れてほしい」、「事業のPRが必要」、「気軽に参加できる活動があるとよい」、「大勢の人達が参加できると良い」、「体験型の学習会に参加したい」、「活動を継続した欲しい」などがある。

環境活動・学習事業の継続について(性別、年齢別、地域別、職業別)

- ◆性別で見ると、「続けた方がよい」と答えた人の割合は、女性(77.2%)が高く、男性(74.3%)が低く、2.9ポイントの差がある。
- ◆年齢別で見ると、「続けた方がよい」と答えた人の割合は、65歳以上(79.3%)が高く、20代(65.7%)が低く、13.6ポイントの差がある。
- ◆地域別で見ると、「続けた方がよい」と答えた人の割合は、東三河地域(80.1%)が高く、尾張地域(73.6%)が低く、6.5ポイントの差がある。
- ◆職業別で見ると、「続けた方がよい」と答えた人の割合は、自営業(83.0%)が高く、勤め人(74.2%)が低い。



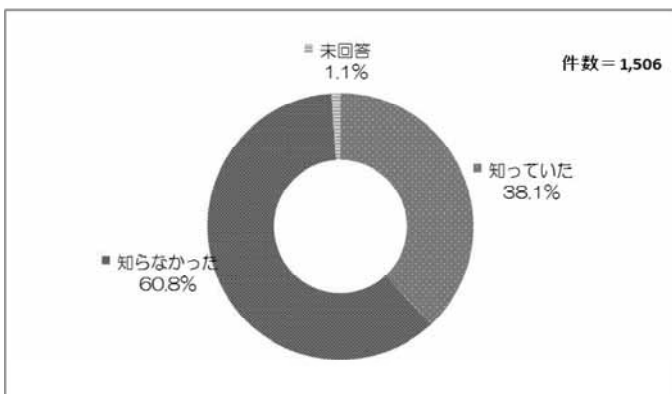
性別	男性	74.3%	8.2%	2.6%	13.6%	1.3%
女性	77.2%	5.9%	0.3%	14.2%	2.4%	
年齢別	20歳～29歳	65.7%	10.2%	0.0%	23.1%	0.9%
	30歳～39歳	77.9%	4.6%	1.0%	15.9%	0.5%
	40歳～49歳	73.0%	5.5%	2.3%	17.6%	1.6%
	50歳～59歳	77.1%	7.3%	2.1%	11.8%	1.7%
	60歳～64歳	73.6%	12.3%	0.5%	12.3%	1.4%
	65歳以上	79.3%	5.4%	1.2%	10.7%	3.4%
地域別	名古屋地域	76.2%	6.7%	2.0%	13.4%	1.7%
	尾張地域	73.6%	7.2%	1.2%	15.7%	2.4%
	西三河地域	77.8%	6.8%	0.6%	13.2%	1.6%
	東三河地域	80.1%	7.5%	1.9%	9.3%	1.2%
職業別	自営業	83.0%	4.9%	1.1%	9.9%	1.1%
	勤め人	74.2%	7.3%	1.5%	15.7%	1.3%
	無職	75.9%	7.1%	1.3%	12.9%	2.8%

Ⅶ 木の香る学校づくり推進事業について

(1) 愛知県産木材の利用と森林整備のかかりについて

愛知県産の木材製品を使うことが、地域の森林整備につながることを「知らなかった」が60.8%

問VII-1 愛知県産の木材製品を使うことが、地域の森林整備につながることを知っていましたか。(〇は1つ)

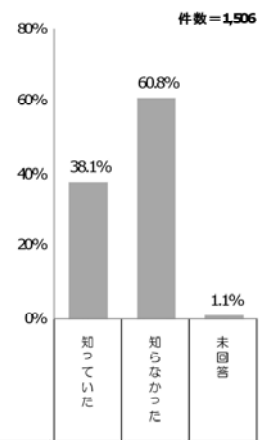


愛知県産の木材製品を使うことが、地域の森林整備につながることを「知っていた」と答えた人の割合は38.1%である。一方で「知らなかった」と答えた人の割合は60.8%と高くなっている。

※「木の香る学校づくり推進事業」とは、公立小中学校の子どもたち用に、愛知県産木材を利用した机・椅子を導入する事業。

愛知県産木材の利用と森林整備のかかりについて(性別、年齢別、地域別、職業別)

- ◆性別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、男性(39.9%)が高く、女性(35.6%)が低く、4.3ポイントの差がある。
- ◆年齢別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、65歳以上(49.6%)が高く、20代(18.5%)が低く、31.1ポイントの差がある。
- ◆地域別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、東三河地域(45.3%)が高く、尾張地域(36.9%)が低く、8.4ポイントの差がある。
- ◆職業別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、自営業(44.5%)が高く、勤め人(34.8%)が低い。

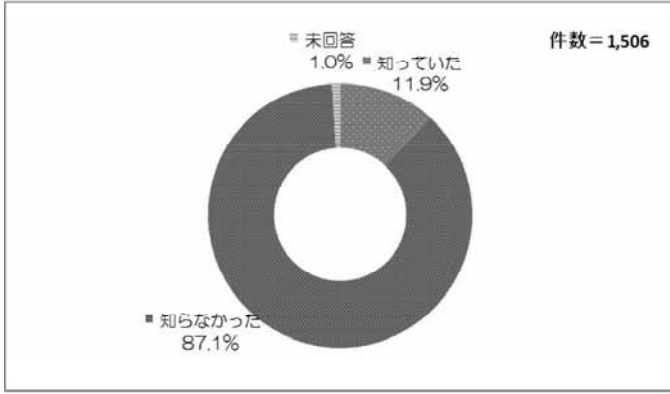


性別	男性	39.9%	59.7%	0.4%
女性	36.5%	63.1%	0.4%	
年齢別	20歳～29歳	18.5%	81.5%	0.0%
	30歳～39歳	29.7%	69.7%	0.5%
	40歳～49歳	32.4%	67.2%	0.4%
	50歳～59歳	35.4%	64.6%	0.0%
	60歳～64歳	43.4%	56.6%	0.0%
	65歳以上	49.6%	49.4%	1.0%
地域別	名古屋地域	37.0%	62.5%	0.5%
	尾張地域	36.9%	63.0%	0.2%
	西三河地域	38.3%	61.1%	0.6%
	東三河地域	45.3%	54.0%	0.6%
職業別	自営業	44.5%	54.9%	0.5%
	勤め人	34.8%	64.9%	0.3%
	無職	40.4%	59.1%	0.5%

(2) 木の香る学校づくり推進事業の認知度

木の香る学校づくり推進事業を「知らなかった」87.1%

問Ⅶ-2 木の香る学校づくり推進事業を知っていましたか。(〇は1つ)

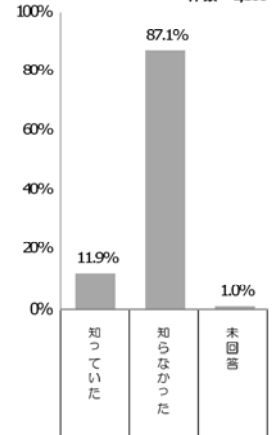


木の香る学校づくり推進事業を「知っていた」と答えた人の割合は11.9%と少ない。一方で「知らなかった」と答えた人の割合は87.1%と高くなっている。

木の香る学校づくり推進事業の認知度(性別、年齢別、地域別、職業別)

- ◆性別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、女性(13.5%)が高く、男性(10.4%)で低く、3.1ポイントの差がある。
- ◆年齢別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、65歳以上(19.5%)が高く、20代(4.6%)が低く、14.9ポイントの差がある。
- ◆地域別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、西三河地域(15.1%)が高く、名古屋地域(9.7%)が低く、5.7ポイントの差がある。
- ◆職業別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、無職(15.8%)が高く、勤め人(8.9%)が低い。

件数=1,506

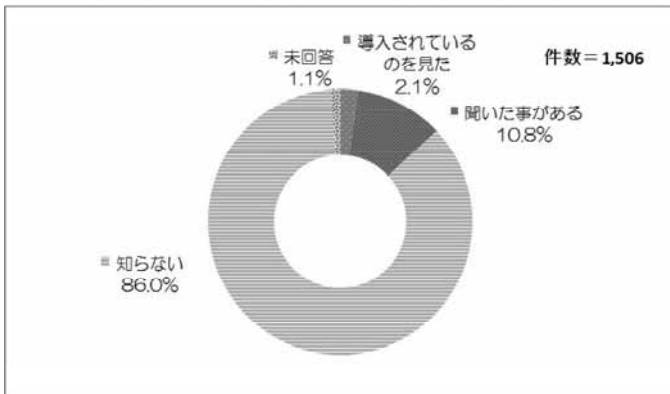


性別	男性	10.4%	89.0%	0.6%
女性	13.5%	86.4%	0.1%	
年齢別	20歳~29歳	4.6%	95.4%	0.0%
	30歳~39歳	6.2%	93.3%	0.5%
	40歳~49歳	10.9%	89.1%	0.0%
	50歳~59歳	9.0%	91.0%	0.0%
	60歳~64歳	12.3%	87.7%	0.0%
	65歳以上	19.5%	79.6%	1.0%
地域別	名古屋地域	9.7%	89.8%	0.5%
	尾張地域	11.4%	88.4%	0.2%
	西三河地域	15.1%	84.6%	0.3%
東三河地域	14.3%	85.1%	0.6%	
職業別	自営業	11.5%	88.5%	0.0%
	勤め人	8.9%	91.0%	0.1%
	無職	15.8%	83.5%	0.7%

(3) 愛知県産木材製品の学校施設への導入状況

周りの学校で愛知県産木材を使った木製机・椅子が導入されている事を「知らない」が86.0%

問Ⅶ-3 あなたの周りの学校で愛知県産木材を使った木製机・椅子が導入されていますか。(〇は1つ)

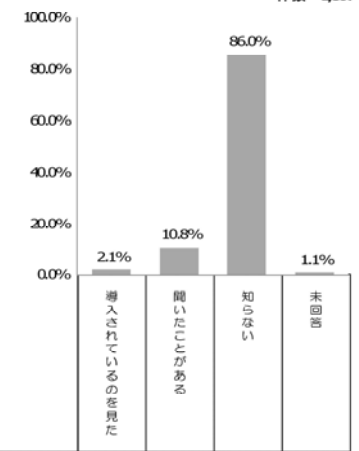


あなたの周りの学校で愛知県産木材を使った木製机・椅子が「導入されているのを見た」と答えた人の割合は2.1%、「聞いたことがある」と答えた人の割合は10.8%であるのに対し、「知らない」と答えた人の割合は86.0%と高くなっている。

愛知県産木材製品の学校施設への導入状況(性別、年齢別、地域別、職業別)

- ◆性別で見ると、「導入されているのを見た」と答えた人の割合は、女性(3.1%)が高く、男性(1.2%)が低く、1.9ポイントの差がある。
- ◆年齢別で見ると、「導入されているのを見た」と答えた人の割合は、40代(3.5%)が高く、「聞いたことがある」と答えた人の割合は、65歳以上(16.3%)が高い。
- ◆地域別で見ると、東三河地域では、「導入されているのを見た」、「聞いたことがある」と答えた人の割合がともに高く、名古屋地域、尾張地域ではともに低い傾向にある。
- ◆職業別で見ると、「聞いたことがある」と答えた人の割合は、自営業(13.7%)が高く、勤め人(9.2%)が低い。

件数=1,506



性別	男性	1.2%	11.8%	86.4%	0.6%
女性	3.1%	10.1%	86.5%	0.3%	
年齢別	20歳~29歳	2.8%	9.3%	88.0%	0.0%
	30歳~39歳	2.1%	7.2%	90.3%	0.5%
	40歳~49歳	3.5%	9.4%	87.1%	0.0%
	50歳~59歳	1.4%	9.0%	89.6%	0.0%
	60歳~64歳	2.4%	9.4%	88.2%	0.0%
	65歳以上	1.7%	16.3%	80.8%	1.2%
地域別	名古屋地域	1.0%	9.9%	88.8%	0.2%
	尾張地域	1.9%	9.6%	88.0%	0.5%
	西三河地域	3.2%	12.5%	83.9%	0.3%
東三河地域	4.3%	15.5%	79.5%	0.6%	
職業別	自営業	2.2%	13.7%	84.1%	0.0%
	勤め人	2.2%	9.2%	88.4%	0.1%
	無職	2.1%	12.0%	85.0%	0.8%